

# 地方公務員の給与水準

- ・ラスパイレス指数（※）（全団体平均）は、98.5（昨年より0.2ポイント低下）  
→平成16年から6年連続で国家公務員を下回る。
  - ・85.1%の団体（1,571団体）は、ラスパイレス指数が100未満
- ※学歴や経験年数の差による影響を補正し、国家公務員給与を100として計算した指数（H21.4.1現在）

## ラスパイレス指数の推移

区分	昭和38年	昭和49年	平成元年	平成11年	平成15年	平成20年	平成21年
全地方公共団体平均	105.5	110.6	103.0	101.2	100.1	98.7	98.5

## ラスパイレス指数の最高値・最低値

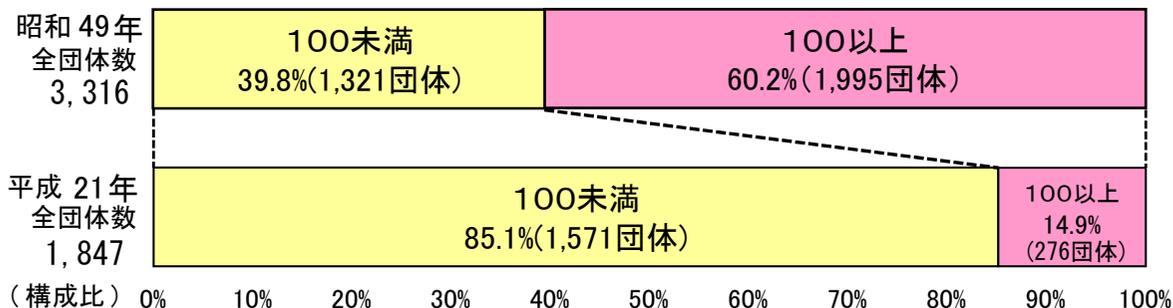
区分	最高値	最低値
都道府県	103.8 (静岡県)	91.9 (岡山県)
指定都市	104.6 (横浜市)	98.0 (堺市)
市区町村	105.4 (東京都府中市)	68.8 (北海道夕張市)

## <参考>平均給与月額状況

本給のみで比較するラスパイレス指数は低下しており、諸手当を含む平均給与月額で見ても...

- 国が増加している一方、地方は減少している。
- 地方の方が、平均年齢が高いにもかかわらず、平均給与月額は国を下回っている。

## ラスパイレス指数の分布状況



## 平均給与月額と平均年齢(全職種) (単位:円・歳)

区分	H20	H21	21-20
国(A)	403,984 (41.6)	406,463 (41.9)	2,479 (0.3)
地方(B)	394,608 (43.1)	389,618 (43.1)	△4,990 (0.0)
B-A	△9,376 (1.5)	△16,845 (1.2)	